

第29期 日野市立図書館協議会 令和3年度第3回 議事要録

【日時】 令和3年10月25日（月） 10:30～12:00

【場所】 日野市立中央図書館 開架室（ZOOMアプリによるオンライン形式の会議）

【出席者】 ○図書館協議会委員

田代守委員、紺野順子委員、田中正昭委員、元木千恵委員、山口洋委員、
栗澤稚富美委員、遠藤寛靖委員

【事務局】 清水ゆかり館長、青石和久副館長、内田芳徳庶務係長

【報告事項】

1. 令和3年度第6回（7月）以降の図書館の取り組みについて

…8月号「たかはたブッククラブ」小学生を対象とした「進化系おはなし会」として実施 9月号「はじまりの読書会」全4回の連続講座 高幡図書館集会室にて実施 「夏休みジュニアスタッフ2021体験報告」感染症対策を徹底して実施 来年もできれば実施したい 10月号…「中学生と作家の交流事業2021」佐竹美保さん講演会紹介 11/7（日）コロナ対策を取って実施 保護者等はオンラインで参加する形式とした 11/21（日）生涯学習まつり 各施設の取り組みの紹介し、図書館ではヤングスタッフを職員が紹介する

2. 令和3年度予日野市立図書館の運営に関する評価書について

…教育委員に報告 委員からの感想として、「総括的意見がていねいに書かれている」「資料提供ができてよかった」「新しい取り組みも評価する」など、積極的な取り組みを評価していただいた

…これまでの新型コロナウイルス感染症対策の経過説明 短時間の利用を利用者に呼びかけ 利用者からの苦情等なし 9/30以降館内のマスク着用、手指消毒等の徹底 小学生向けおはなし会を申込制にして対応 10月までは、参加者名簿が作れないので未実施とした 10/8以降、集会施設の人数制限撤廃 おはなし会も通常に戻る コロナ以前にほぼ戻った

…第4次図書館基本計画 令和4年度が第3次計画の最終年度 予算獲得、人選を実施中 事務局として4名 若手8名によるワーキングチーム立ち上げた

…運営評価 百草図書館の取り組み 三沢中アクションプランとして、百草図書館の看板を作ってもらっている 入り口に設置予定

→看板の文字は子どもたちが作ってくれたもの 出来上がりが楽しみ 社教センターと共同企画「勝手に図書館」ブースを4つ社教センターへ出している 紹介文を読んでいいと思った本を図書館で借りることができるよう誘導 誰でも参加できる

→集会施設等50%の入場制限のある中、どのくらい集会室利用のニーズがあったのか

…具体的数字不明 週4～5団体 単発利用 20名も参加するサークルはなく、制限内に収まっていた

→市民の「学び」が継続・保障されていたことを評価

→①新教育長が決まったら、図書館協議会とも意見交換できればよい ②コロナ対策は換気が大事

…①着任したらこれまでの報告に加え、現場で話すよう依頼する ②去年は冬場も窓を開けていた暖房は効いている 苦情なし 今季も同様に換気に注意していく

→「運営に関する評価書」は、市議会（民生文教委員会）に報告されることはあるのか 市民にどのような関心があるのかニーズをつかんでおいて、今後活かすことは大事

…過去においては 教育部で確認 他の生涯学習施設も同様

→「社会教育のあらまし」等は報告している ホームページで報告している

…評価のやり方も変わってきているが、今回はどうか

→観点はいい 評価は各事業の次の改善へつながる 市民向けとしてはボリュームが大きいので、

ダイジェスト版があるといい どうやって市民に伝えているかアピールをしていく

→職員はどう受け止めているのか 市民向けに評価され、市民目線で評価書が使われていけばいい

…生涯学習の会議に参加すると、PR 不足、と必ず指摘がある いい取り組みをしているが、シートには記入してこないこともある さまざまな取り組みを発信できる形にもっていきたい 職員に対しても「運営に関する評価書」の内容をフィードバックしていく

→利用者の姿が想像できる 図書館の動きも評価できる

→取り組みをアピールできないのはもったいない 利用者がわかりやすいところだけ抜粋して PR してみてもどうか

→ここまでやっているのか、と感心 基本方針や基本計画はどこに視点を置いて評価したらいいのか、絶対評価か相対評価か

→整理された項目になった 改善策が半期にどう反映されたのかを踏まえて、さらに具体的に進めることができる 「運営に関する評価書」の①25p 移動図書館 石田環境プラザ 7/15 開所 夏休み含め 3 か月ほど経過して様子はどうか ②39p 障害者サービス 個人情報審査会にどのような動きがあったのか ③読書バリアフリー法施行に合わせた動きや情報はるか

…①月 2 回の巡回 開始時より利用増 ごみゼロ推進課や地元住民とも協働し、地域に求められているサービスの内容を考えていく 地域になじみつつある ②障害福祉課協力のもと、障害者手帳保持者に案内を展開 12 月の審議会に出す文書を総務課に提出済み ③東京都ではまだ動きがない 障害福祉課と進めていく

→「運営に関する評価書」の①6、7p 学校支援 学校に対する一方的支援とはならないようにしてほしい ②36p 授業の課題と改善策について、職員がどう評価書をとらえていて、次にどう活かすのか、フィードバックして改善を望む 以前から、学校図書館の自立の妨げになっていないかと感じ主張してきたところ 法に基づいた仕組みにはなってきた

…担当に伝える 学校との交流会があれば、寄せられた意見を活かしていきたい 学校とは双方向で連携が必要であり、今後も研修や情報交換を進めていく

【協議事項】

1. 運営評価を終えて

※運営評価を終えての委員の皆様のご感想等

※評価の際に委員から、「図書館事業」と「出版社・書店」についてのご意見が寄せられました。

→市場は縮小 郊外大型書店からインターネット通販サイトへ 6 か月間の貸出禁止を求める動きもある

→図書館協議会として議論がどこまでできるのか 図書館のあり方まで考えるいい機会 ①読者に対し、活字離れをどう対応していくのか ②インターネット通販サイトは書店にとって脅威となったビジネスモデルの変換を考える 環境の変化にどう対応していくか

→それほど影はないと考えている 本を買わなくなったことは事実

…2000 年代から問題に 全国図書館大会でも議論があったこともある 複本購入も慎重に、バランスのよい選書を心がけている 図書館法に基づき、運営規則に則った運営をしていく 資料の収集方針もあり、選書基準に基づき選書を行っている

…論文紹介 これまでは統計的調査がなかった 分析の結果、書店では売り上げが伸びている 出版情報を網羅的に収集し、選書に活かすという役割も図書館に求められている 複本 図書館はためし読みの場としても機能している 図書館大会で地域経済に対する影響の検証等行っている 図書館と出版業・書店業はその役割が異なり、共存共栄は可能と考えている

→①読み継がれていくようないい本は、刷りを重ねている 玩具のような児童書も増えた ②図書館に対する誤解と無理解 自立には客観的情報が必要 「図書館＝読書」という意識にも変化が求められている ③出版社との共存共栄 絵本委員会にて、幼児向け絵本の紹介のため 50 社 50 点選出する

など、特定の出版社に片寄らないリストバランス等が求められる

→予約サービスを評価 気に入った本は購入する 「学びを分け合う」ことに意味がある

→公共図書館や書店は、全国の高校の数より少ないという事実 読書をあきらめない 本と出会う場所として図書館の活用を 予算獲得に努めてほしい

2. その他

次回日程 令和4年2月2日(水) 午前10時30分 ~ 12時を予定

【配布資料】

- ・図書館報「ひろば」 8・9・10月号
- ・資料1 日野市立図書館ホームページ抜粋「図書館をご利用いただく際は、感染症対策を十分にお願ひします」
- ・資料2 佐竹美保さん講演会チラシ
- ・資料3 日野市立図書館のサービス実績 昭和40年度～令和2年度
- ・資料4 論文「公共図書館における書籍の貸出が売上に与える影響について」